

3番 湯川 洋治

1. 開成駅の急行停車を見据えた駅周辺インフラ整備を

小田急電鉄株式会社ホームページの 2018 年 4 月 27 日付け「2018 年度年鉄道事業設備投資計画」で、10両編成の快速急行、急行の停車に向けて開成駅ホームの延伸工事を推進するとあり、開成町民の念願だった急行停車駅がまさに実現しようとしている。

この絶好な機会を捉え、駅周辺のインフラ整備をし、相乗効果を狙った施策が必要であり、現在計画が進行中の「駅前通り線周辺地区土地区画整理事業」の早急なる実現、駅前交番や郵便局の誘致、さらに企業誘致など町民が期待している様々な事業を推進すべきと考える。

また、急行の停車駅となることで、町外からの利用者の大幅な増加が見込まれ、乗降客や送迎のための自家用車の対策として、開成駅東西の各ロータリーの見直しやバス路線の復活が必須となる。

急行の停車駅となる事で、足柄上地区の新たな玄関口となるため、今後の駅周辺整備について、町の考え方を問う。